The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	ごあいさつ
Author(s)	松本, 圭史
Citation	癌と人. 2002, 29, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23699
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ご あ い さ つ

理事長　松　本　圭　史*

皆様には，ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は，財団法人大阪癌研究会に対し，格段のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて，我が国は世界一の長寿国として発展を遂げ，今後もますます高齢化が進んでいくことと予測されますが，このような高齢化の到来とともに成人病特に癌の増加が大きな社会問題になって久しいところであります。癌は，社会的・家庭的に重要な立場にある年齢層にも罹患率が高く，かつ，死亡順位も極めて高いことから，依然として癌の制圧は我が国の国家的な重要課題であります。

このような社会的背景の中で，昭和10年に設立された本財団が，癌に関する研究の奨励助成や癌対策事業を果たしてきたこれまでの成果は，この財団をご支援くださった役員をはじめ多くの方々のお陰と改めてここに感謝の意を捧げたく存じます。

このように本財団は多年にわたり，癌予防のための知識普及，早期発見のための検診活動，さらには，学術研究の奨励助成に努めてまいりました。中でも特に我が国において発生率の高い乳癌や大腸癌の検診を中心にその早期発見に努力してまいりました。

しかしながら，これらの活動の中で検診事業は，各自治体の癌検診の実施や大阪大学微生物病研究所附属病院の閉院などの環境変化により，継続することが困難な状況となり，残念ながら平成６年で検診事業を中止せざるを得なくなりました。その後は検診事業を除く設立当時の目的に沿って，癌に関する知識の普及と学術研究の奨励助成に全力を注ぎ，現在癌研究の領域において大きな成果を上げつつあります。

今後も引き続きこれらの事業に鋭意努力を重ね，各事業を通じて癌医学の発展に貢献し，全人類の悲願である癌の撲滅に向かって本財団の社会的使命を果たしたいと存じておりますので，「癌と人」第29号を発刊するにあたり，旧来にまして皆様の力強いご支援とご協力を切にお願い申し上げる次第であります。

＊(財)大阪癌研究会理事長　大阪大学名誉教授